注意レベル表

注意Lv.	気になること	例えば・・・	伝わる言いかた
注意が必要	危ないこと（けが・事故になること）	飛び出し、人に石を投げる	「止まって！」「やめて！」（強く、短く言う）
	大きくみんなの迷わくになること	みんながちこくしてしまうこと	「ならんで歩いてね」（やっていいことを教える）
気持ちを伝える	困る人、イヤがる人がいる	相手がイヤがるいたずら、悪ふざけを続ける	「私は困ってるよ」「そういうことを言われると悲しい／イヤなきもちになる」（きもちを言う）
	イヤなきもちや悲しいきもちになること	わる口、からかい	「○○してくれるとうれしいな」「やめてくれてありがとう」（お願い、かんしゃ）
人は人	困る人がいないこと	相手が楽しいきもちになる、いたずら・じょうだん	気にしない、気になっても注意しない
	自分の好きなこと、知っていることとはちがうこと	へんなカッコウをしている 自分がきらいなもの・ことの話を楽しくしている	「そっか、○○くんはそれが好きなんだね」「私は○○が好きなんだよ」（相手と好きなことがちがっても「人は人」でOK！）

★友だちへの注意は「本当に必要なこと」以外は、きもちを伝えたり、小さなちがいは気にしないことで、相手をたくさんキズつけず、自分の心もおだやかに、楽しく一日をすごせます。

★友だちが大事にしていることが自分とちがっても、それを大事にできると、友だちから信らいされます。

©楽々かあさん https://www.poplar.co.jp/book/search/result/archive/8008117.html